

1988年2月29日発行

109

あごられ櫻連絡先
細田英理子.TEL 644-2927

通信担当
森野京子
TEL 882-0211

今月のなかみ

- | | |
|----------------|----------------------|
| 例会報告...1.2 | バレンタイン作戦
てん末記...5 |
| 「案内」2 | ピースポート...6 |
| Shobo talk...3 | シリーズ 反原発...7 |
| いきねきコーナー...4 | 情報・おとぎ...8 |

原発に反対 私たちが 知って ますか?

2月
会報

定刻になても人が集まりず、結局5名で例会を
もった。資料として、泊原発を止めための「道民投票」
の検討結果について、ヒ「原発問題を若える」神沼
公三郎氏講演記録(旭川市民の会ニュースより)を用意
(T=残部あり。希望者: 563-6917、受取記)か? 参加

者はよく知るよう、レポーターの解説はやめて
原発に対する意見を出しあつた。

- ・何時近く、原発について知りはじつたりだったけれど、危機感を持ち去はれたか。テレビ
アリ後、そしてちょうど1年前には、廣瀬隆氏の講演を開き、暗くなり、
年末には甘美珠恵子さん「まだ、まだいなう」と読んで一瞬、絶望的にな
った。今は、まだまだいなうと祈るような気持ち。
- ・あの本は、関心がない人に読んでもうには、手に取る本だと思う。
原発に不安をもつて113人か=約86%、しかし、不安があるも、今後のエネルギー
として必要と見ている人が、約61%。この61%を、よく知ることによると、原
発は危険だからいい。この地球上から原発をなくす、という強固な
原発反対派には、かかんから、また、知らかん人に伝えいく(か)ない。
- ・Mさんは"原発初級講座"の言ひかいへ。原発の恐ろしさを、人に伝
えていくためにも、自分たちもよく知っておくために企画LT=。

不安な気持ちから次々に語られ、そして、行動力は多いらしい。

昨年12月21日以来、反核・反原発のネットワークづくりが進んでいく。
2月13日現在では、何ら、具体化されておらず、2月15日の5回目の集会で、
やっと、動き始めた。①法的効力がある署名活動を実行する。これは
先立つ、原案をまとめたが、②防災計画、安全協定の不備をつけて

窓屋はものができる以上、活動せばいい。テーマ③ニュース発行チム。

…その他、食品中の放射能を測定していく。というグループもあつた。

例会の最後に、出力調整実験を2月12日、全国からの反対の声を無視して強行

した。伊方原子力発電所、四国電力に抗議のハガキを。

又、いち早く、伊方の実験を報道してくれた、南海日日新聞

と、「まだおまかせの方」を小冊子にして出版してくれた、地鷄社

に激励のハガキをみんなで書いて投函した。数日後

Uさん(=Uさんしかきていたのは何故か? 文章が)

結構高かったのかな?) お金をかけました。立派な

資料が送られてきた。原子力発電がいかに安全で重要な

なものか安全性を図入り、餘入りで解説してくれた。お金がかかるけれど、それで

は、元気印ひ頑張ろう、と話しあつた。



今後もハガキ等、常備し、ハガキ作戦を展開していく。

個々人か今すぐにやれることから、まずは手始めにやることから始めよう。

1. 霧氣料金の銀行自動引き落としをやめる。1回1回、銀行の窓口で払う。払い込み用

紙のうらに「原発による霧氣はいりません」とか「これ以上の環境汚染、環境破壊
は人類のおじけです」とか書く。

2. 道行へ行って、北海道地域防災計画をもとめて(3F)の際、不安な気持ち
を伝える。

3. 従来から言われていいか、新聞等へ抗議、激励の気持ちを伝へる。

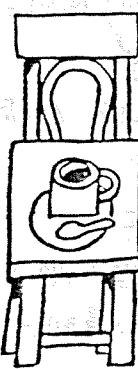
千葉工業大学、じしやくの安内、じしやくの北条道地圖、じしやくの文書、アカシヨシエ。

3月

テーマ 古典文学における女性差別
(源氏物語)

レポーター

寂野 京子



例会
安内

ヒミ 3月13日

ところ

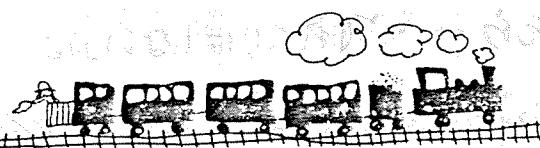
北1条西9丁目

北海道ビジネスビル

4F

TEL 261-2801





Shoko talk!

No. 1.

「フェミニストおよび未来のフェミニストおよび非フェミニストのための
たのしいたのいいマンガ」・映画・小説リスト

特集は号に「メッセージ性はあるけど楽しいもの」マンガ・映画・小説などの紹介もやってみたいと書いたところ、さっそく問い合わせのお手紙をいただきまして、そこで作成のがこのリストです。このリストには、いろいろな種類のものが入っています。小説のテーマ自体が女性問題を意識したもの。テーマは違うが物語の舞台になつている社会がその社会にはどんな女性問題が存在するのかということを強く考えさせるもの。あるいは男の本音があつたり出でていって苦笑してしまうもの。特集の主観で作ったので、期待はずれのものもあるかもしれません、その点はお許しください。



「華麗なる女銀行家」フランス・ジロー監督 ロミー・シナダ
主演に挙げるのは不適切かもしれません、あれ、いうのが主人公エス・エーカルが、お金のために生きといふよりも、政治家と結婚する、妻となる男と公然とつきあうし、かばまでこうなんとかれるのだ。それをたぶんこうなんよくしているのは彼女の強い意志だ。自分をぶそつとする権力者たち間に、彼女は絶対に放棄はしない。その意思と魁力咲く、愛人の瞳も彼女にいかに協力するかになる。それまで銀行は上流階級が相手にしてこなったが、彼女は銀行を設立すると庶民の小口預金を集め、元手に囚禁制だらけ証券取引につりだし。預金者に8%という高額の利子を約束し、財界に衝撃を与える。当然、上流階級・権力者の構的につれ、逮捕、毎日閉鎖、スキヤンタルの暴露に見舞われる。彼女はハントで抵抗し衰弱しきて病院に車掌され、すきをついて脱走逃亡。預金者への支払いを認めさせる裁判を起こさりする活動を開始する。これが偶然の交通事故で重傷を負い、再度逮捕されてしまう。



彼女はなおも自分で抜けだそうとするが、結局民たちの政治圧力のなかで放逐される。いろいろわがめの、彼女の勝利宣言とも言えるエーカル銀行フランス防衛委員会の演説の最中に、彼女は狙撃され死ぬ。しかし、彼女が自分の意思にしか死た。それを鏡とおして勝利いくことが重要なので、この結果は一概に悲劇だと言えない気がする。この映画には実在したモデルがいる。マリ・アームストラング。1885-1935に生きた人がいて、かなり忠実にその人の生涯を描いたものよだよ。

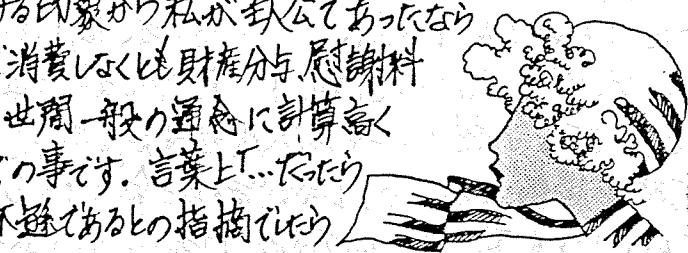
つづく お楽しみに！

後藤 咲子

「私が仮に彼女の立場だったら……別れたりはしない」は

本当ですか？についてフルぶりっ子とはどういう意味かよくわかりませんが本当です！
おまえ映画の主人公であったならと前置きしてありますから 私個人の事を言っているつもり
ではなく、彼女の様に社会的、経済的にめぐまれ自立もし、なのに問題意識は特別持
っているわけでもない。不満部分も、落氣によって（相手もいるわけで）一応のアテラスが出来
ているらしい。そういうた画面より受ける印象から私が主人公であったなら
別れる為のエネルギーをわざわざ消費しなくとも財産分与、慰謝料
精神衛生上 etc ……おくれて、世間一般の通常に計算高く
のつかつていた方がよいと言つたまでの事です。言葉上…だから
…しない。」と言ついいまわしが不遜であるとの指摘でいう
反対しなければならないかも知れません。又あなたの場合ならどうか？と問いたいとい
うなのではどうか？と問いたいところなのでしょうが、受けたてでは私と夫との夫婦関係にはまだ、お
よびます。およんでよしとする考え方もあるでしょうが、私にとっては、立入禁止区域です。
ふみ込まれたくない領域にやがるる問い合わせには、今回に限らず一まいが一コント。

個人の解釈は自由です。



「男をヒリかえたって…

満足出来る結果は生まれない。」について諱たらずだったのか、男に求めることは人間
本願よ、と言っているわけで「累想の転換なしには ——。」=「自分で生きるみちを
切り拓く。」とおきかえでもよいわけで農女と同じ意味のことと言っているつもりです。
別れずに夫を他力本願の対象に(夫によつて生きる)するということではありません。

「映画を見ました。」は個人的にたいへんつかれている時期に急書きまし
た文で通常言葉使いには気をついているのに、今日はハイハイ本音がむけ
て思ひぬ斜辟を受けるハメになりました。



言ひ方を書くにあたってうつらうつら思ひめぐらすうちに、深夜までおひ、心身共
つかれました……。おどろの理念と、私の生活環境は遠くへだちしている力ではな
からうかと、思わずにはいられません。

いきぬきコーナー返信

北谷 澄子



一 箕輪登へ秘密法 反対チョコ バレンタイン作戦てん末記

本道一区から選出されている箕輪登議員は「国家秘密法」制定特別委員会委員長をやり、同法制定の熱心な推進役、「国家秘密法に反対する女の会」では地元として黙ってはいられないといふと彼をターゲットにバレンタイン作戦を展開した。チョコに言ひて反対のアピールをしようというもの。新聞が大きくとりあげたのでアピール効果は十分あつたと思ふ。まずはそのてん末記を……。

前日、「渡す場所は後援者が集まっているパーティ会場の前。こちらで行けるメンバーは私を入れて若手(?)3人」と決まる。いわば敵中に乗りこむわけで、そういう不安があったせいか、その夜変な夢をみてしまう。後援者達(ハマコーのような右翼っぽい人達)にとり囲まれ、ヤジと怒号の中、非常口からやっと逃げ出すという夢。翌日、正夢でなければいいかと思いつつ会場に向かう。少し早く着いたので喫茶店で時間まで待つ。落ち着いていよいよみえた他の2人も緊張しているのか、店に入ったらさっそくビールの注文。「今までだって集会で寸劇りやパフォーマンスやる前に必ず飲んでたもんねー」

到着間近となりたので玄関で彼を待つ。その間、迎えに出てきていた箕輪のパーティー主催責任者に私達の趣旨を説明したところ、手にしていた花束を見て「ちょうどよかったです。花束がながたんです。パーティーの席上で渡して下さい。」私達は反対の立場なんですよ何度も説明しても「会場で」とのたまう。この人本当にわかるのかーと思って、よううに彼が到着。「こんでもないし秘密法」と書いた大きなハート型のチョコ、メッセージ、便箋状、花束を手渡す。彼は私達の問いかけに「理解を得てからやります」と答えて消える。その間30秒ほど。あっけなく終ってホッ！ 終ってみて改めてとても緊張していたんだなと思う。成功してよかったです！ いよいよハグニングエピソードもあつたし忘れかたい経験です。

その後新聞報道で周知のことと思ひますか：箕輪側が渡したものそれをくり返してきました。「女の会」としては次の作戦として、直接箕輪あてに反対の声をぶつけようとハガキ作戦をはじめました。是非皆さんも「制定反対」のハガキを出して下さい。会でつくったハガキもあります。詳しくは細田まで

(細田記)

—あごう京都通信より抜粋—

「ピースボートでベラウとフィリピンへ

阿部ひろ江

NO. 6 (連載)

」



翌日、バギオの輸出加工区を見学。やはり日系、米系の企業が多く、そこでは低賃金で人々が働いている。BAYANの人たちの話では労働者同志の棲の連帯は密で、1つの会社がストをすると、他の会社も呼応してストをするという。

私たちか、今もマニラの方角をみて鎮座しているマルコスの巨大石像を訪れた時、私たちの噂を聞いてはるばる1バロイ人の一族が私たちに会いに来た。

石像を見るために、強制移住させられたこと、なんとかして土地を取り戻したいこと、生活が苦しいこと、昔、日本軍から拷問を受けたこと、なども一人一人切々と語る。私たちはマルコスが見おろす前で、折は降り出した雨の中、傘をさしながら人々の話を聞いた。

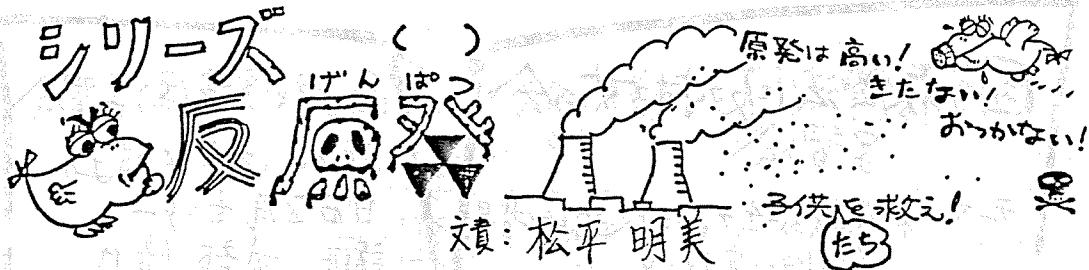
再びバスに乗り込んで、マニラまで近くと続く道をひた走っている間も、先ほどの人たちの裸の足や、暗い顔に刻まれたしきが、脳裏に焼きついて離れない。

私たちのバスがピースボートのつながりで港まで帰ってきた頃には、集められていた船上コンサートは、もうクライマックスで「アーツ（息子）」で有名なフレディー・アギラがとうとう歌つていいところだった。残念ながら、マルコス政権下で投獄されていたホセ・マリア・シン（資産党を設立）には会えずじまいだった。

その後、フィリピンの各地に散っていたピースボートのメンバー(手続き)と船に帰つて来る。巨大なゴミ山、スマーキーマンティ(人々はゴミを拾つて生活している)や、アキノ政権下にあって壊滅された原発(ほとんどの住民には關係なく、日系企業などに電力を提供するハズだった)や、銅鉱の島ネグロス、「劣悪」も労働も強いらしいいるバタフランテジュニアなどを訪れていた人たちは、皆、山を山廃した面持ちで帰つて来り、至る所(?)で祝い、体験して下驚きを伝える。

明日はもう日本。長いと思っていた旅も終り。ピースボート最後の夜をかみしめながら眠りにつく。翌朝、マニラ空港へと向つた彼らのバスの積と、数組もの家族連れが通ります。寂のない人たち——。





「見えない雲」を読んだ。この本には、西ドイツのある町で原発の事故が起きた。そのために、近くの街を逃げ出す人々のパニックの状態、そして、被爆で苦しんでいく様子が物語られている。

もし、原発事故が起きたら……。その時近くにいた人々は間もなく死に、遠く離れたりしたから徐々に病氣にまいまれながら死を迎えていくんだろう。ほんせんと、そう思っていた。しかし、「見えない雲」を読んでからというもの、急に、その状況がリアルに想像されるようになった。私達は、放射能が流れて来ると知らされて、じっと来るのを待ついるわけはないのだ。逃げ出そうとする人々でパニックが起こる。でも、どこへ逃げる？あの三原、山の爆発の時に避難した人々を思い出す。たとえ、遠く離れた親類のところへ身を寄せることができたとしても、そこでは、日常生活がごくあたりまことに続いているはずで、被爆した私達をいつまでも暖かく迎え入れてくれる余裕があるだろうか。

しかし事態は、こんな想像すら許されないよう進んでいるようだ。行政側は、パニックが起こることを恐れているようで、ありのままに事故が知らない可能性すらある。原発銀座として知られる福井県では、何ヶ所もの道路に、かんじょうな遮断機が設置されていること。逃げようにも、逃げ出すことができない。この本の中でも、事故を起こした土地の住民は誰も逃げ出すことができなかつたことになっている。逃げ出そうとした人々は暴力によって射殺されている。

泊から80km。もし事故が起きたら、私と家族だけがうまく逃げ出せてその後、幸せに暮らしました、なんてことは絶対にあり得ないのだ」と気付いたら、何だか、後悔はないのだ”という気持ちになってきた。

中高生くらいの年令の“女性”主人公のこの本にはぐんぐんと気持ちを引きずり込まれるものがあった。私が市民運動に首をつっこむことに批判的な中2の私の娘も最初は敬遠していたのだ“か”。ちゃんと読み出したらとまらなくなつたほど。是非、一度読んでみて下さい。

国家秘密法に反対する女の大會 学習会

テーマ… 機密法がもたらした政治的情報
昧がガイドラインを保つ中心に

講師 片山 正彦氏
(共同通信北海道支社デスク)

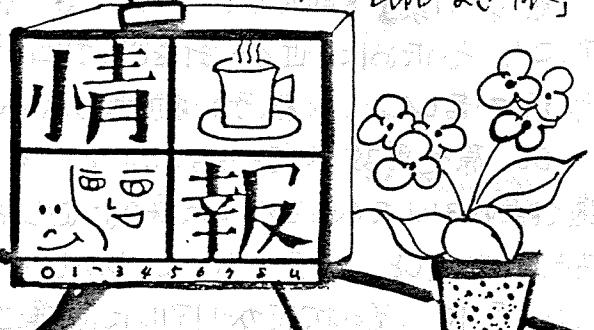
3月18日(金) 6:00~8:30
中央区民センター 視聴覚室

国家秘密法(案)学習会

3月2日(水) 6時半
白石区民センター

講師 武部 恵代

映画 「武器と女」



国際婦人デー

第30回札幌集会

テーマ…「平和とくらし」

すわりこむ三宅の女

講師 三宅の女

3月8日(火) 5:30開場
自治労会館 6:00開演
北6西7

市民から政治を考え連続講座

3月11日(金) 6時半

中央区民センター 視聴覚室

講師 善明氏

会費 300円

主催 朝根連合ネットワーキング
反核・反原発全道住民会議

原発初級講座

3月10日(木)、3月24日

10時より12時半まで

1人2900円(東北13東14)

704-5447

札幌市女と女教師の会

3月3日(木) 4時

教育会館 5F(中央区南3西12)

テーマ…核・原発を許さない運動をめざして

講師 上田 文雄氏 柳原 彰一郎氏



二月にめいの結婚式でピンチヒッターを家恵さんにお願いして東京へ行って来ました。浜松町の竹芝桜橋通りで私の大好きな満開の椿の花を見て来ました。自然に触れ美味しいものを食べ充電して来ました。その後の通信担当皆さんの協力で案内されました。おぎのきょうこ。